

CASBEE[®]-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	(仮称)ワコーレ明石市大久保町大窪	階数	地上15F 地下0F
建設地	大久保町大窪字大畑533-1, 537-2	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域、準住居地域	平均居住人員	288 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年6月 予定	評価の実施日	2024年1月20日
敷地面積	1,068 m ²	作成者	大土呂巧建築設計事務所
建築面積	303 m ²	確認日	
延床面積	3,480 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.5 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境品質 G 環境負荷 L BEEチャート: 3.0, 1.5, 0.5, 0 S, A, B+, B, C	標準計算 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです (kg-CO ₂ /年・m ²)	Q2 サービス性能 M/標準 Q1 室内環境 M/標準 Q3 室外環境(敷地内) M/標準 LR1 エネルギー M/標準 LR2 資源・マテリアル M/標準 LR3 敷地外環境 M/標準

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.7 M/標準 M/標準 M/標準 M/標準 M/標準 音環境 3.2 温熱環境 3.7 光・視環境 3.3 空気質環境 4.4	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3 M/標準 M/標準 M/標準 M/標準 M/標準 機能性 3.8 耐用性 2.9 対応性 3.0	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.4 M/標準 M/標準 M/標準 M/標準 M/標準 生物環境 1.0 まちなみ 3.0 地域性・地域性 3.0
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2 M/標準 M/標準 M/標準 M/標準 M/標準 建物外皮の 4.0 自然エネ 3.0 設備システ 5.0 効率的 3.0	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0 M/標準 M/標準 M/標準 M/標準 M/標準 水資源 3.4 非再生材料の 3.0 汚染物質 3.0	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1 M/標準 M/標準 M/標準 M/標準 M/標準 地球温暖化 3.3 地域環境 2.9 周辺環境 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 周辺環境との調和を考慮し、配置計画、植栽計画、色彩計画を行いました。 また、プライバシーと防犯性に配慮するなど、居住者に住みやすい環境を整えるよう努めました	その他 特にありません。	
Q1 室内環境 限られた条件の中でも、人が快適と感じられるよう工夫しました。	Q2 サービス性能 可能な限り性能を高めるよう努力しました。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を可能な限り設ける等の配慮をしています。
LR1 エネルギー エネルギーの使用の合理化に関する法律の基準に照らし、エネルギーを過剰消費しすぎないよう配慮しています。	LR2 資源・マテリアル 節水型水栓・節水型便器等を採用するなど、環境負荷が低くなるよう努めました。	LR3 敷地外環境 看板照明等の過剰な照明を採用しない等、周辺環境へ気を配った計画としています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される